

県PTA広報紙コンクール



県知事賞を受賞 笑顔の吉野中三浦P会長と竹田P副会長

来賓、受賞校の代表ら約80名が集まる中、表彰式に先立ち富永大輔県PTA連合会長が「読みやすく読みごたえのある広報紙づくりに真摯に取り組まれた様子をうかがうことができ、心から感銘を受けた。特

色あるPTA活動を支え、会員の思いを伝え広げることが着実にできていると思う。広報活動は20年30年と積み重ねることが出来る。まさに大変やりがいのあるPTA活動。PTA広報紙が、学校や地域

に希望と勇気を発信することで、子どもたちが健やかに成長していくことを祈念いたします」とあいさつした。

続いて、野中情報教育長(代理)大城久武県教育庁教育次長が「広報紙の役目は、子どもが自己実現を支える学校での諸活動を、保護者や地域の人に伝え地域のぐるみで子育てを行うための意識の醸成をはかること。家庭や地域の教育力の向上につながるPTA活動の一層の充実が期待されます」と祝辞を述べた。

4月17日に大分県教育会館201研修室で第37回大分県PTA広報紙コンクールの表彰式が行われた。県内の小・中学校PTA・育友会から、135点の応募があり、4月3日の審査会で47校の入賞が決まった。

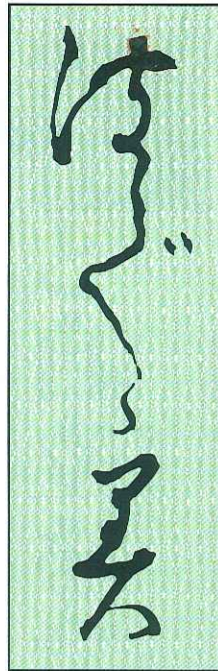


県知事賞に『よしの』

質の高いアプローチが高評価

大分県立吉野中学校PTA

大分県PTA



発行所 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 (097)556-9055 責任者 富永大輔 印刷所 大分市下郡3154の22 九州凸版印刷株式会社



http://www.oita-pta.com/

表彰式の後、帆足三郎審査委員長が講評。県知事賞の『よしの』について「カラーの紙面の扱いが上手。年間テーマの取材も緻密で、読みごたえがあった」と評価のポイントを紹介した上で、「今回、惜しくも入賞を

内容の充実が 受賞へのカギ

審査委員長が講評。県知事賞の『よしの』について「カラーの紙面の扱いが上手。年間テーマの取材も緻密で、読みごたえがあった」と評価のポイントを紹介した上で、「今回、惜しくも入賞を

審査員

- 帆足 三郎 (委員長) 大分合同新聞文化センター元顧問
- 園田 康夫 大分県教育庁社会教育課参事
- 岩尾 淳一 大分県PTA連合会「はくく美」顧問
- 富永 大輔 大分県PTA連合会会長 (敬称略)

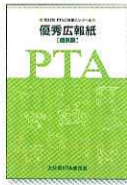


審査方法・基準

- 4人の審査員が1人10点の持ち点で1次審査、集計をもとに審査員の協議による2次審査で各賞を決定する。
- 〈基準〉
- ①読みやすく、わかりやすく、すっきり
 - ②年間のシリーズ物、企画物があるか
 - ③広報紙の特色(運動会等の扱い)
 - ④写真のバリエーション、トリミング
 - ⑤地域の特色が出ているか
 - ⑥レイアウト、見出し、カットの整理力
 - ⑦誤字・脱字がないか
- 尚、入賞紙のうち10枚が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品される。

お知らせ

☆第37回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版 1冊1,000円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県P事務局までお申し込み下さい。 県内の各小・中・特別支援学校には 郡市P連を通して1冊贈呈します。 大分県PTA連合会事務局 (097) 556-9055



会場に集まる受賞者たち

第37回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校

県知事賞 「よしの」 吉野中 (大分市)	県小学校長会長賞 「滝尾つ子」 滝尾小 (大分市)
県PTA連合会長賞 「もりおか」 森岡小 (大分市)	県中学校長会長賞 「南風」 南部中 (日田市)
「上野ヶ丘」 上野ヶ丘中 (大分市)	大分合同新聞社賞 「大野川」 戸次中 (大分市)
「たかせ」 高瀬小 (日田市)	「はる川」 原川中 (大分市)
「広報つるおか」 鶴岡小 (佐伯市)	「桜が丘」 上堅田小 (佐伯市)
「さいき城南」 佐伯城南中 (佐伯市)	OBS賞 「ふれあい」 野津原東部小 (大分市)
県議会議長賞 「ほうふ」 豊府小 (大分市)	TOSテレビ大分賞 「紫薫」 竹田中 (竹田市)
県教育長賞 「あけの西」 明野西小 (大分市)	OAB賞 「浜ちどり」 浜脇中 (別府市)
「夢つるや」 鶴谷中 (佐伯市)	

優秀賞 (順不同)

小島 明野東 西の台 明治小 南大分 明治北小 下郡 戸次小 桃園 東植田小 留 賀来小	中島 明野東 西の台 明治小 南大分 明治北小 下郡 戸次小 桃園 東植田小 留 賀来小	明野東 小島 明治北 小島 戸次 小島 東植田 小島 賀来 小島	附属 小島 滝尾 小島 種西 小島 附属 小島 津久見 小島 渡町台 小島	佐伯 小島 三重 小島 威宜 小島 光岡 小島 東部 小島 東三 小島
---	---	--	--	--

②写真の色が濃いと紙面が重くなる。カラーの紙面の扱いについて、目に優しい色使いを心がけてほしい。
③全体的に言える事だが、写真が多い。運動会など1ページを写真で埋めている事が多い。4枚ほど減らして、記事(文字)を増やすとスッキリ見やすくなるのでは。
④中身が大切。学校内外の関心事や身近な問題を、どう取り上げるか会議の中でよく話し合っておきたい。シリーズを設けて、それに対する取材をしっかりとし、内容の充実を。
⑤大胆な内容に挑戦し、1面トップ記事の重要性をよく考え、丁寧に扱ってほしい。
⑥欄外の扱い。ページ数を打つなど、基本的な型が守られているか注意して。
⑦難しい年間テーマに挑戦(受賞コメント)
県知事賞受賞の大分市立吉野中学校PTA広報紙『よしの』は吉野中PTA活動テーマ「自尊感情栄養理論」の推進からだとこのころの栄養を満たして自尊感情を高めることに沿ったシリーズを組み、審査員より高評価を受けた。

竹田幸恵大分市立吉野中学校PTA副会長(広報部担当)は「PTA活動年間テーマである「自尊感情の高い子どもたち」のために楽しみながら取り組んできた事を記事にした活動が評価され、生徒・保護者・学校に対し感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。読み手の興味を喚起するための紙面づくりに重きを置き、また、読者がアクションを起こそうとするきっかけづくりになればと、年間の紙面の統一を工夫しました」と受賞の感想を語った。

▲第65回県学校書道展 表彰式に出た。賞状を受けて来賓席に一礼して降壇した児童生徒学生は200名中45名。中でも大分高校生徒達の立居振舞が際立った。特に200番目の同校3年生中野佑依さんは、賞状を受けるやられ右。会場に向かって大きな張りのある声で「有難うございました」場内に緊張感が漂い見事に締め括った。小中学生には格好の手柄となった。「いい大人になってね。いい伝統を残して卒業おめでとう。いい後輩達にもたくさん会いましょう。輝け大分高校」と。中野さんの背に向けて、私は心中で敬意を表しました。「たった一礼に目くじら立てるなど言われるかも知れない。でもそのたがたがでない現実をどうするのか。人にはめられ、ものを頂いて返礼ができない人間でいいのか。キツチリの礼が出来、ハッキリと有難うが言えることが人間としての基礎基本と思う。礼儀の始めは、容体を正しくし、顔を赤く、辞令を順にするに在り(礼記)礼儀の1番は自分の姿勢や態度を正しく、顔色(心は顔に出る)を赤く、顔色(心は顔に出る)を赤く、ことばを順当(道理当然)にしていく。つまり、態度、顔色、言語を慎むのが礼儀の第一歩であるとの教え。私たちがみんな、小さい礼儀作法に気がつけたなら、この人生はもっと暮らしやすくなる(チャップリン) 礼儀作法とは思いやりともいえる。ほめられたら、そのうれしさを、つまり思いを相手に、そしてみんなにやる。あがることだといいたい。▲東京オリンピックの招致で「おもてなし」は、世界共通語になった。持て為す言動は、思いやる、礼の心である。



〔一般の部〕

竹田市立久住中学校PTA 宮本好子

悩みごと話しているとき
親子だなど感じる瞬間
考え方がとても似ている



〔中学生の部〕

豊後大野市立三重中学校 1年 小並桃花

いやなこときついことあるけれど
そんな時、母は言う
「同じ時間を使うなら笑って楽しくすごそうよ。」
私もそう思う だから頑張れる



〔小学生の部〕

宇佐市立和間小学校 6年 杉本礼香

横になり読書する母
いつのまにか本を手にグーグー
そっと本にしおりをはさむ私

最優秀

大分県PTA連合会は、平成25年度「三行詩コンクール」
最優秀・優秀作品を選定し、発表した。
応募総数190点の中から、部門ごとの最優秀作品3点と
優秀作品12点が表彰された。
富永大輔県PTA連合会長が各部門の最優秀者を祝福した。

三行にこめた想いは
無限に大きく温かく

三行詩コンクール 大分県最優秀作品

親子で話そう！ 家族のきずな・我が家のルール

グローバルな未来へ翔け

～国際交流・国内研修事業 IN つくば～

平成26年3月26日から29日の4日間、茨城県つくば市で「国際交流・国内研修事業 IN つくば」が初開催された。日本PTA全国協議会が、全国から86名の中学2年生を対象に研修事業を行った。

国際交流で得たもの

由布市立扶間中学校2年 曾我 美里

私の経験した三泊四日は、私にたくさん
のことを教えてくれました。
私の一番記憶に残っていることは、全員
で将来を語り合い、日本の将来について考
えたことです。その中で共通していたこと
は、人々を笑顔にすることや、ずっと平和
な日本であることです。私はこのプレゼン
テーションを通して夢をもつことの偉大さ
と、叶えることへの挑戦、そしてそのため
の努力の大切さを知りました。
これからは、この経験を生かし自分、
それと日本の未来へつなげていきたい
です。



勉強会で交流を深めた

四日間を通して

大分市立坂ノ市中学校2年 原 慶太郎

一日目は、オリエンテーションなどがあり
ました。部屋の人とは、同じ部活動をして
いたので、すぐに仲良くなりました。二日
目は、大縄飛びやソフトボールをしました。
他の班の人たちとも仲良くすることが
できました。三日目は、自分の夢を話した
りしました。夜に話し合いがあったけど、
二日目よりスムーズにできました。四日
目は班の発表をしました。四日間あった
けど、とても短く感じました。最後に活
動の写真をDVDで見ました。お別れのとき
はとてもさみしかったけど、またいつか
会えたらいいです。今度このような研
修があったら、また参加してみたいです。



仲良くなったみんなと和やかに

子どもを犯罪被害から守りましょう!!

本年1月、北海道で小学3年生の女子生徒が誘拐される事件が発生しました。幸いにして女子生徒を保護することができましたが、このような犯罪から子どもたちを守るためにご協力をお願いします。～大分県警察より～

保護者の方へお願い

- ★子どもには、人通りの少ない道を通らず、知らない人から声をかけられてもついていったりしないよう指導しましょう。(いかのおすし)
- ★子どもには、危険を感じたらすぐに逃げる・助けを呼ぶよう指導してください。
- ★不審者を発見した場合は、すぐに110番通報をお願いします。



三行詩コンクールは「たのしい子育て全国キャンペーン」を推進する文部科学省が、日本PTAと共催し募集、表彰を行っている。日頃から親子で話し合う大切さを社会全体に呼びかけることを目的としている。

「保護者心得六箇条」の活用を

大分県PTA連合会ではPTA活動を皆様方の力で推進したいと願い、次のスローガンを掲げています。

「手を携えて育てよう」「地域の宝」が光り輝くために
子どもが輝くPTA活動を目指して」

私たちの願いは、子どもたちが輝く笑顔で学校生活を送ることです。それを具体的に進めるために保護者自身が自ら振り返る事が大切だと考え、「あいさつができること」「他人を尊重すること」など具体的な像として「保護者心得六箇条」を策定しました。
是非、この六箇条をご活用ください。子どもたちとともに成長していけることを願っております。

保護者心得六箇条

- 一、あいさつの手本は、まず、大人が示そう。
- 二、一人ひとりを尊重できるように、自分の人権意識を高めよう。
- 三、権利ばかり主張せず、保護者としての義務を果たそう。
- 四、学校や先生の批判を、子どもの前ではしないようにしよう。
- 五、学校に対しての相談は、まず、担任の先生にしよう。
- 六、PTA活動を通して、子育てを楽しもう。

大分県PTA連合会



中休みや昼休みに時間があれば、校庭に出ていいよ。」と助け舟を出してくれます。「よし、じゃあタツチするよ。」と言って鬼を交代してもらいました。鬼の子からタツチされ、追いかけて、あれやこれやするうちにチャイムがなり、ゲームオーバーです。無邪気に遊んでいる子ども達は、とてもいい顔をしていて、元気をもらっています。

休み時間

日出町立 川崎小学校
校長 河野 健二

「みなさん逃げてください。10数人からみんな逃げて！」

個性と自立を育む



新学期が始まって約2ヶ月。夏の匂いも漂うようになった。子どもたちは一つづつ上の学年へ進み、新しい学校や新しい学年に慣れてきた頃だろう。

中学2年生のAくんのお母さんは、塾の進路面談に行つた。そこで、担当の先生とこんな話になった。

「Aくんは、第一志望を〇〇高校と書いてきたのですが、ちょっとまだわかってないみたいですねえ」

「まだ本格的に決めているわけじゃないでしょうけど…」

「〇〇高校に行くためにはこのくらいの偏差値がないとダメですし、今のクラスではなく、一つ上のクラスじゃないと行けませんよ」

現実的に無理だと言う先生にお母さんはこう返した。「確かにこの成績では今は無理でしょう。でも私は、本人が今ここにきたと、そういう気持ちであれば、それを尊重したいので、それを尊重



(写真と本文は関係ありません)

進み、トップクラスで頑張っている。少年野球クラブに入っているBくんは、運動神経がとりわけいい方ではない。病気がちで、低学年の頃は試合に行けなかったこともある。けれど、練習を、行きたくない」とさぼったことは一度もない。楽しそうに練習を自分で通って練習に行く。しかし、3年生4年生頃になると、後から入ってきた同級生が、自分を追い越して先にレギュラーになっていった。それでも腐ることなく、ベンチで同級生のヘルメットを並べたり、バットを揃え、水を用意したりして試合を支え、6年生からはレギュラーとして頑張った。

～見守る強さと言葉の力～

Bくんが、顔には出さないけれど悔しい思いをしたことや、レギュラーではないことで、同級生の輪に入らなかったことをお母さんは知っている。でも、自分の役割を黙々とこなし頑張る姿を後ろから見守り、卒団の時に「よく頑張ったね」と言葉を送った。

中学生になったBくんは、違う部活に入っただけれど、明るく友達も多い。誰にでもフラットで不登校気味の友人を、学校や友達とつなぐ存在だ。

どうしても埋まらない差というものはある。「頑張る」「少しでも埋められるよう努力する」という向上心は大事。でも、そこに行くための違う方法や、その人しか出来ないことがあるかもしれない。その結果生まれたものを大人は褒めて認めた。今そこで思うような結果が得られなかったとしても、子どもたちには未来が、その先の先がある。子どもたちは、皆同じではない。でも、皆等しく未来がある。その子その子の持っているものを信じ、見守り、個性と自立心を育てたい。

ひとりで悩んでいませんか？

— 保護者に子どもに寄り添いサポート —

を因るため設置。子育てに関するあらゆる相談を受け付けている。相談の内容で最も多いのは、育児・しつけ相談。子どもの行動性、接し方、嘘や非行、友達との関係等が多い。相談者と一緒に考える過程の中で、成長に伴う自我の目覚めや、甘えたい年頃である心情などについて助言している。

大分県では「子育て満足度日本一」を目標に掲げ「子ども自身の健やかな育ち」を支援する取組を進めている。子育ては、親子の健やかな育ちを支える取組を進めている。多くの取組の中のひとつ、いつでも子育ては、親子の健やかな育ちを支える取組を進めている。

母親からの相談が全体の90%。このことから現在でも家庭において、子育ての中心的な役割を担っているのは母親である。子育て中の母親を孤立させないためには、父親のさらなる育児参加が必要である。

いつでも子育てとライン

24時間 365日相談 ☎ 0120-462-110

18歳以下の子どもを持つ保護者が対象。子育てに関する不安や悩みは、親であれば誰でも抱えているもの。でも、忙しくて相談する時間がなかったり、身近に相談できる人がいないなどの理由で、一人で悩みを抱え込んでしまう保護者も少なくない。子育てのストレスが、子どもへの虐待を引き起こす場合もある。

チャイルドラインおおいた

どんなことでもいいよ。はのわってお話ししてね。「やまに？」ってさくよ。

無料でかけられます ☎ 0120-99-7777 月～土 24時～24時

18歳までの子どもがかけられる子ども専用電話。説教やアドバイスを行うのではなく、子どもにそっと寄り添い声を聴く。子どもは、本気で話を聴いてもらえた、受け止めてもらえたと感じることができれば、自分自身で課題と向き合い、乗り越えていく力を持っている。秘密は守り、名のらなくてもいい。イヤだと思ったら電話を切っていい。



私には一人の息子と二人の娘がいる。長女が生まれ半年で野津原の実家に四世同居で暮らし始めた。子育てをする環境としては一人の娘に対して大人六人で二十四時間付きっきりであった。そんな中、家族は私を一番怖い存在として子ども達に言い聞かせ、今では笑い話だが、私が怒ってもいないのに、悪さをすると「パパの目を見てごらん、怒っててでしょ」と言われ、慌てて怒った振りや何度かした。ただ、一つのルールとして怒る側と怒られる側が自然と存在した。また、小さい頃

我が家の子育て

自立し始めている今、子ども達に何を残せるのか、日々模索しながら、子育てを楽しんでいる。

大分市PTA連合会 会長 太田 宗一郎

情報配信システム「まもめーる」

大分県警察では、皆さんの身近で発生する

- 子どもへの声かけ事案等発生時の不審情報
- 振り込め詐欺や車上ねらい等の被害防止情報

などの情報を電子メールで配信しています。

登録方法

- ① e@ansin-oita.jp に空メールを送って下さい。これで自動登録されます。
- ② 情報の種別や地域を選択、登録の解除も自由にできます。送り返されてきたメールの指示に従って設定をして下さい。

お問い合わせ

大分県警察本部生活安全企画課 安全・安心まちづくり推進室

097-536-2131



「繋」つながる

日田市連合育友会

第22回大分県PTA研究会
会日田・玖珠大会では、県下
各地より多くの会員の皆さま
にご参加頂き誠にありがとうございました。また、各関係
機関の皆さまには多大なるご
支援ご協力を承り心より感謝



ネットワーク 16 報 村 PTA
(16は県下郡市等P連の数)

火山が生み出した神秘の島
としてジオパークに認定され
た姫島村と伝統的農法が世界
農業遺産として認定された国
東市で構成される国東市・姫
島村連絡協議会です。
本連絡協議会は合併や地理
上の問題から普段は姫島村連
合PTAと国東市PTA連合
会として、それぞれ単独で活
動に取り組んでいます。
そしてさまざまな取り組み

申し上げます。無事に大会を
終了した事に、日田・玖珠役
員一同これからの活動にも弾
みが付くものと確信していま
す。さて私たちの活動ですが
他都市Pの活動とは大きな差
は有りませんが、子どもたち
や学校の思いを伝えたいこと
が当会の共通認識だと思いま
す。「繋」ですが役割として
広報紙の作成に力を注いでい

広報紙を通して 地域へ情報発信

「子は宝」子育ては地域全
体で行います。地域の方々に
も学校の活動、子どもたちの
様子などしっかり伝え常に関
心を持って頂く要素が十分に
有ります。各学校が紙面作成
についての研究や努力も怠り
のない事も事実です。毎年県
P広報紙コンクール審査委員
長の帆足三郎先生を講師に迎
え、紙面作りの基礎を学ぶ「広
報紙研修会」を行います。こ
の作業は私たちが行える一部
のサポートに過ぎませんが成



講師の帆足先生



熱心に学ぶ広報紙研修会の様子

果と関心の高さが思いの伝わ
る紙面になっていると確信し
ています。本会も今後の活動
の中心として位置付け、さら
なる技術向上を目指します。
先哲、広瀬淡窓先生の「威
宜園教育」の教えの基ひと
りひとりが確立された集合体
で子どもたちの成長を見守る
会で有り続けたいと願ってい
ます。
日田市連合育友会
会長 和田 浩二

子どもと共に成長できる活動を

国東市・姫島村連絡協議会

の内容について連絡協議会で
意見交換をしながら、子ども
のためによりよい活動ができ
るよう両連合会が一体となり
頑張っています。
指導者研修会の 取り組み
この研修会は連絡協議会で
取り組む数少ない活動の一つ
です。
連絡協議会発足以前より形
を変えながら開催されてい
て近年は県の研究大会に沿っ
た形で開催されています。
昨年については「一人ひと
りが輝き、心豊かなたくまし
い子どもを育てるPTA活
動」を研究主題にして講演と



講演に聴き入る参加者

家庭教育・広報活動・人権教
育の3分科会に分かれて各学
校での取り組みについて研究
発表をする分科会を行いました。
それぞれの分科会では
様々な意見がだされ、子ども
の成長だけでなく、子ども
のために保護者や教職員が成
長することのできる大変意義
のある研修会になったと思
います。
そして、本年度開催される
大分県PTA研究大会国東・
姫島大会では、こういった経
験を生かしながら、PTAは
もとより地域と一体となって
未来に向けて成長していける
ような大会にできればと思っ
ているところです。
それでは、いにしへの宝を
未来につなぐの里国東市で
皆さんがお越しになるのを
お待ちしております。
国東市・姫島村連絡協議会
会長 重光 秀昭

反抗期 どう接したらいいの?

みんながながる コーナー

自然と絆を深め、心肥やし

あたたかさに身を転じた風
たちは、あちこちの心地よい
芳香たちと、春を告げる。
人の目に見えないこの空気
の流れ、南風を身体で感じ、研
ぎすまされた情の心を使い、
情感が詰まった「薫風」とい
言葉を贈った。
自然のうつろいに向き合っ
て暮らす私たちは、自然の生
命と重ね合わせながら受け止
めてきたのだろうか。
小欄「いたずらな」ふきのと
う」に登場した翔君。
昨年の採集体験の失敗から
学んだコツを生かし自力の採
集に成功。さらに今年も栄養
たっぷりの卵づくりに挑戦。
ニワトリのエサに青虫を与え、
その効果を検討中。
小さい頃から、動物、草木土、
石、火を友だちとした体験の
積み重ね。遊びから、危険の
察知、恐怖心、不安感など、自
ら感じ取ることでしかできない
感覚が支えていたのだろうか。
「せせらぎ」の音、「キンモク
セイ」の香り。子どもたちは
どんな受けとりをするのだろ
うか。「キンモクセイ」の香り
を「トイレのにおい」では心配
である。

☆今年度の「はぐく美」編集
スタッフを紹介します。
丸山真里(編集長)
加来 史 金子育代
近藤 薫 友永美和
(顧問) 岩尾淳一
親しんで頂ける紙面をめざ
し努力します。ご愛読下さい。
▼先日、潮干狩りへ家族で出
かけた。一人少ない。高校生の
の長男は家族の輪から外れた。
これから、一人また一人と減っ
ていく。寂しいが仕方ない。
▼末っ子が小学校6年生に
なった。私にとっても小学校
PTAに関わる最後の年。楽
しみながら、自分にあたら
れた活動に取り組んでいこう。
▼忙しい春が過ぎ、ようやく
落ち着いてきた我が家。子ど
もたちもそれぞれ新しい環境
に慣れ、不安が笑顔に変わっ
てきた。私も負けてられない。
▼広報紙コンクール、今年も
力作がズラリ！中でも「はつ
せ」の1年生の力一杯走る姿
に釘付け。縮刷版58ページを
ぜひ、ご覧ください！
▼毎朝の行ってきます。子ど
もたちと手を合わせ軽く
握る。同じ目線までしゃが
んでいたが、同じ高さになっ
た。見上げる日まで続くかな。

編集後記
岩尾 淳一

県 P 情報
6月6日(金)
第66回定期総会
6月20日(金)
幹部研修会
7月26日(土)
第8回全単位PTA
会長研修会

県 P 情報
○元大分市立南大分小学校長
○NPO法人・県普通顧問理事
○県美協名誉会員

一面コラム欄は引き続き「研北寸心」です
筆者紹介
氏名 牧 泰正(泰壽)

大分県教育長に 要望書提出

中学校3年生学力診断テストの
継続実施

富永大輔県P連会長、
和田俊二藤田和秋両県
P連副会長は、2月10日、
野中信孝県教育長に、平
成26年度における「中学
校3年生学力診断テスト」
継続実施についての
要望書を提出した。
「中学校3年生学力診
断テスト」は、進路指導の
資料としての活用だけで
なく、学力定着状況の把
握から、補充授業や授業
改善といった取組にも役
立っている。
その後、高校再編や高
校入試に関する現状や
課題等について、意見交
換を行った。

立ちどまらない保険。 MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心 GK

〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2
www.ms-ins.com

転入生の方・ご加入を忘れていた方
平成26年9月25日まで随時ご加入できます。保険料・保険期間が
変わりますので、右記、フリーダイヤルまでお問合せください。

～連携代理店のお知らせ～
はぐく美保険サービス(株)は、平成26年3月1日より下記代理店と連携代理店として提携を開始しました。
MS大分株式会社 〒870-0039 大分市中春日町6番5号 (TEL 097-578-6644)

大分県PTA連合会補償制度
PTA育英補償制度
PTA自転車安全補償制度

今年度も多数のご加入をいただき
ありがとうございます

(保険にかかるお問い合わせ・事故にあわれた場合もコチラへ)
(コール ハグクミ)
0120-56-8993
(受付時間：月～金 9:00～17:00)
(取扱代理店)
はぐく美保険サービス株式会社
大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館2F